



けんすけくんのかお

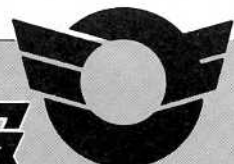
いまいよしみつくん

保育園からこんにちは

おともだちのかお

いまいよしみつくん(六歳) 神付

神土保育園



No. 348H2/2

広報ひがしらかわ

発行 東白川村 ■編集 東白川村企画課 ■〒509-13 岐阜県加茂郡東白川村神土548番地
 ☎05747>8-3111・内線26 ■印刷 益田郡下呂町 下呂印刷株式会社



写真提供者 田向安幸さん(日向)

輪の中で育つ子どもたち

子どもからお年寄まで、こぞうて行事に参加する…
 そういった光景を見ることが少なくなりました。

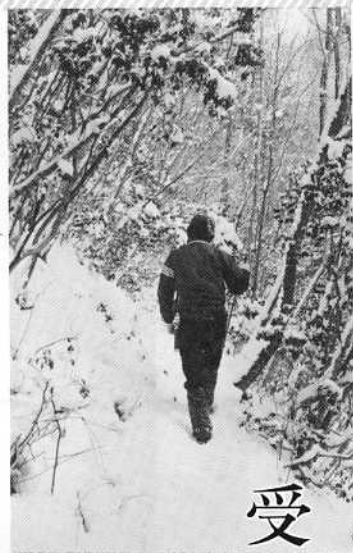
ふれあいの中で、子どもが大人に学び、大人が子供
 から夢を与えられる。そんな、ほのぼのとした地域の
 輪を、日向1班の左義長に見ることができました。

人口の動き

—1月末住民登録人口から—	
世帯数	9 3
人口	3,526人
転入	3人
転出	5人
出生	2人
死亡	3人

先月と比較して3人減
 昨年と同月と比較して38人減

有害鳥獣を追う！



受け継がれて百年

猪狩り

イノシシ

山猟の中でも特に技術を要すると言われるイノシシ

猟は、明治に始まり今に受け継がれて百年。

深刻化するイノシシの被害、そこに活躍する猟師たち

右の姿を追ってみました。

イノシシの被害二・六倍にノ

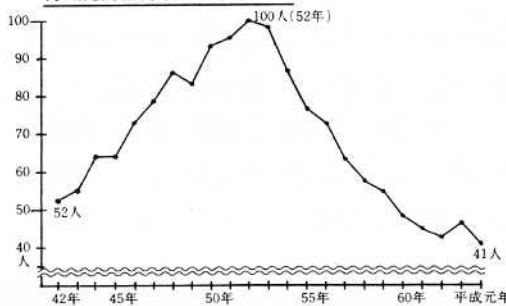
広大な森林を抱えるわたしたちの村は、野鳥や動物たちの絶好の生息地です。しかし、これらの鳥獣は、時としてたいせつな農作物を荒す強敵となり、農家に大きな被害を与えています。中でも、水稲におよぼすイノシシの被害は、年々広がる一方でトタンや電気柵を張りめぐらすなど、イノシシの侵入を防ぐ努力が続けられてきましたが、そのかきもなく一向に後をたちません。

可茂農業共済事務組合がまと

めた平成元年度の「被害状況調べ」によれば、前年の二・六倍に達する被害を受けており、その規模は面積にして二百三十五アール、被害額七十五万円とこれまでにはない深刻な状況です。集落別には、黒潮の六十三アールをトップに、西洞、中谷、栃山など十集落におよんでいました。しかも、その被害は毎年同じ集落に発生しており、ここ数年収穫出来ない田があるそうです。イノシシは、一月ごろに交尾期を迎え五月前後に五〜六匹、ときには十〜十二匹の子を産む繁殖力旺盛な動物です。したがって、猟期中の捕獲実

績がその年の繁殖率に直接影響を与えるため、イノシシの侵入を防ぐことしか出来ない農家にとっては、今年の猟の成果が特に気になる場所でしょう。現在、わずか四十一人となった猟師の中でも、高度な技術と豊かな経験を持ち備えた熟練者十六人が今シーズンの大物猟に臨んでおり、一頭でも多い駆除をめざして猟期早々から熱が入っていました。

狩猟免許登録者の推移(乙種)





山頂からトランシーバーで連絡をとる

捕獲率はわずかに二割弱

幸いにして今年も、予想外の積雪に恵まれたことが好猟につながり、猟期を一週間余り残した二月七日現在で「十七頭」を捕獲。前回の実績を、十二頭上回っています。

しかし、こんな年はごくまれなこと、下段に掲げた過去十八年間の捕獲実績をみても昭和五

ことでした。

猟に出る回数は毎年ほぼ同じでありながら、年によって四頭から二十五頭までの差が生じるのはなぜでしょうか。そこに、奥が深いイノシシ猟のむずかしさがあると聞きます。

そのむずかしさは、猟に出て捕獲出来る確率にも現われており、今年のような恵まれたシーズンですら二割程度の捕獲率しかなかった。

つまり、五回猟に出て一頭を仕留める割合です。しかも、一回の猟に平均十二人ほどの猟師が参加していることから、イノシシ一頭に延べ六十人の人手間を要した計算になります。

これは、猟に適した時期での確立ですから、春から秋にかけて行う有害鳥獣駆除では、ほとんど捕獲出来ないのが現状です。明治中期に始まったとされるこのイノシシ猟は、猟場とめざす山の踏み回しに始まり、作戦会議、待ち配り、狩り込みの順序で行われ、さらに多くの条件

【解説】主な猟師ことば

- 踏み回し 一猪のいる場所を探る
- ね や一猪の寝場所
- 餌ばみ跡 一エサを求めた跡
- 山ができる 一踏み回しが完了し
- 猟師が出来る状態
- 瀬 一山道で横切る谷
- 子 一猪を追い出す人
- 勢 一猪が来そうところ
- 待 ち一猪が来そうところ
- で待つ人
- づ る一尾のこと
- 三 つ 矢一谷がふたつに分れる
- ところ
- 初 矢一発目で仕留める
- 古 坊 主一オスの大きい猪
- 草 一メス
- 人 勢 子一音を立てて猪を追う
- 半 矢一致命傷を与えられな
- かった場合
- 止 め 矢一とどめを刺すこと
- 空 山一猪がいなかった状態
- 待ちはずれ一予想したところに
- 猪が来なかった場合
- コッパづす一はずすこと



リーダーが集まって作戦会議

が満されてはじめて一頭のイノシシが捕獲できるのです。

イノシシ猟はこうして行われる

真白に雪化粧した山頂で仲間と無線通信を取っている。上の写真。獣道歩きながら足跡を追跡している。前ページ右端上の写真。踏み回しの途中で仲間と合流し情報を交換している。その下の写真。

この三枚は、猪がどの山に何頭いるかを足跡などの形跡を

猟場を作る最も重要な仕事、踏み回しの情景を撮したものです。

猟師はその重要性を、「仕留めた喜びを百とすれば、撃つた者は五割、待ち配りが十五割、踏み回しが八割」と表現する。

秋先きから被害のあった農家の情報を集めることに始まり、的確な判断力と知識。そして強い精神力と体力が要求される踏み回しのできる人は、グループの中にも四人ほどしかいません。猟期中のほとんどを踏み回しに充ててこそ、今年のような実

たどって予測し、

その日の

績につながるのです。

その日の猟場を作るために与えられた時間は、午前中のみ。早朝から山を歩き、足跡の追跡を始めて猟場が出来るまでに早く三時間、遅くて五時間はかかりません。その間、一度も休むことなく歩き続けるのです。猟場が出来たらすぐに山を下りてメンバーを招集します。

招集時間は、主に十二時三十分。定刻の十五分前にはメンバーのほとんどが集まり、踏み回しを行った者とその地区の山に詳しい者がリーダーとなり作戦会議を開き、勢子と待ちの二手に分れて持ち場へ向います。



猟犬を連れ猟場へ向う勢子

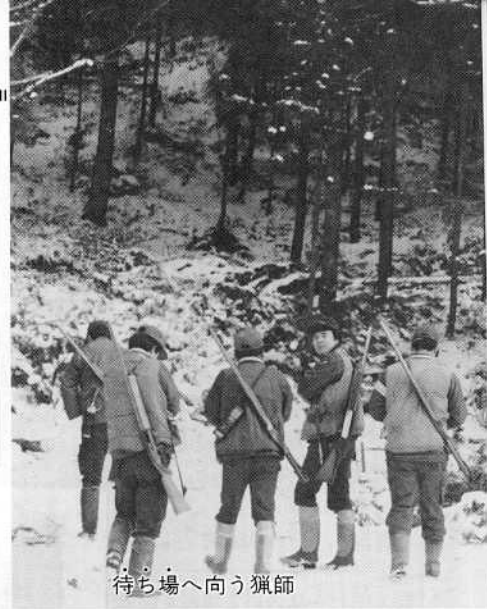
過去10年のイノシシ捕獲頭数	イノシシ猟師16人の年齢別人員
元年度 17頭	35~40歳 (5人)
S63 5	40~45歳 (2人)
S62 14	50~55歳 (0人)
S61 9	55~60歳 (4人)
S60 4	60~65歳 (4人)
S59 13	70歳以上 1人
S58 22	
S57 9	
S56 9	
S55 25	



侵入を防ぐトタン柵 (柏本)

イノシシの生態

〔分布〕本州、四国、九州、沖縄
 〔判別〕全体が暗褐色、全長一・三メートル前後で体重は百斤前後が多い。
 〔生態〕耕地付近の林にすむ。主として夜間に活動し、農作物に害をする。夏は涼しい森林中に、冬は日当りのよい場所によく巣を作って休息する。体についた虫を駆除するために、泥を体にぬる性質がある。交尾期は一月頃で、五月前後に通常五〜六仔を出産し、繁殖力は旺盛である。食べ物には雑食性で、キノコ、タケノコ、葛、山芋、百合の根、カシ、シイの実、ミミズ、タニシ、カニ、ザリガニ、カエル、ヘビなどを好む。



待ち場へ向う猟師

冷静な判断が好猟につながる

勢子は、猟犬を引き連れてイノシシを追い出す役割があり、待ちにはイノシシの来そうなどに待機する射手のことを意味します。
 約三十分から一時間の範囲で狩り込みの時間を設定し、待ち

配りの指示で順に射手を待ちへ入れていきます。
 待ち配りは、知識経験者である年輩者にその役が多く、過去にイノシシの通ったところ、撃つたところを長年の経験と勘から割り出し、射手を適切なポイントへ割り振る重要なポストです。当然ながら集まった人数が少ないときは確率が悪くなるため、そんな場合こそ年輩者の腕の見せどころです。

待ち時間は、約五十分から百斤の間隔で待ち場につくため、人身事故を引き起こさないためにも細心の注意が払われます。

待ちの心得としては
 ①指示された場所の範囲で、撃ちやすい場を決め、銃が振りやすいように周囲の枝を払うこと。

②隣りの射手の位置を確かめ、自分はこの範囲まで銃を引いてもいいか、安全で振れるエリアを頭にたたき込むこと。

この二点を、狩り込みの合図があるまでに自分なりにチェックしておくなくてはなりません。やがて、勢子が放つ銃声を合図に猟犬が放され、一斉に狩り込みが始まります。

ここでも、さらに次の二点が要求されます。
 ①猛然と駆けおいて来るイノシシでも、不自然なもの音、もの影には敏感なため、音をたてたり動いたりすることは禁物。タバコも同様。

②待ち場にイノシシが来ても、必ずエモノを確認し、安全な場所でもしも障害物のないところまで引き寄せて撃つこと。

これらの四つの条件を満たしたうえで、さらに技術、度胸、精進力が要求されるのです。しかし、いつ、どこへ出てくるとも予想がつかない中で、百斤を超すような大物が突然飛び出してきます。ですから、いくらベテランといえどアセリの余り取り逃すことがあるのです。まして、エモノに出合うチャ

平成元年度 イノシシの被害と捕獲状況



ンスは、シーズンを通して一回あれば良い方で、過去に仕留めた経験があってもそれが生かされず「外したら踏み回した人に申し訳けない」というプレッシャーと、緊張感に冷静さを失うといえます。
 昨年、全国で発生した七件の死亡事故も、こうした大物猟の際に起ったものでした。

右の地図は、平成元年度の被害地区と捕獲状況を重ねて表わしたのですが、捕獲した十七頭のイノシシのほとんどが被害地区で捕えられていることから、地図上の場所はイノシシが生息しやすい環境にあるようです。

イノシシの 急所は、頭・胸部、足の付け根部分で、そこを外すと片足でも逃げてしまいます。これを半矢と呼んでいますが、曲坂で撃つたイノシシが半矢で逃げ、白川町の新田医院附近の山で死んでいた実例があり、この場合は腹に当たったケースでした。

正しくお早めに確定申告を！

今年も所得申告のシーズンを迎えました。平成元年分の所得の申告が必要な人や、所得税の還付申告を必要とされる人は、必要書類を用意して、2月16日から3月15日までの下記の指定相談日に会場へお出掛けください。

【申告が必要な人は……】

- ①事業所得や山林所得などがある人
- ②2か所以上から給与を受けている人
- ③給与所得者で、年末調整がされていない人
- ④給与所得者で、給与以外の所得がある人
- ⑤給与収入金額（年収）が、1500万円を超える人
- ⑥土地などの譲渡所得のある人
- ⑦そのほか、申告が必要な所得のある人

月 日	対 象 集 落	備 考
2月16日(金)	柏本	◎ 相談会場 村民センター 2階第1会議室
17日(土)	下野（午前中）	
19日(月)	大沢・久須見	
20日(火)	宮代・曲坂	
21日(水)	日向1班～4班	
22日(木)	日向5班・陰地1班～3班	
23日(金)	陰地4班～6班	
24日(土)	栃山（午前中）	
26日(月)	黒淵	
27日(火)	大明神1班～3班	
28日(水)	この日は、税務署から通知のあった人のみを対象とします。 (場所 村民センター林業研究室) (時間 午前10時～午後3時半)	
3月1日(日)	大明神4班～6班	
2日(金)	下親田・中通（下）	
3日(土)	大口（午前中）	
5日(月)	加舎尾・中通（上）	
6日(火)	上親田	
7日(水)	神付	
8日(木)	西洞	
9日(金)	中谷・平1班～2班	
10日(土)	平3班～4班（午前中）	◎ 持参品 筆記用具、印鑑 関係書類 ・生命、建物などの保険料の支払証明 ・水稲被害証明 ・医療費領収書 ・森林施業計画証明 ・源泉徴収票など
12日(月)	平5班～9班	
13日(火)	平10班～12班	
14日(水)	前日までに申告が済んでいない人	
15日(木)	申告・納付期限 (この日までに申告納付されない場合は、加算税(金)などがかかります。)	



グループ猟はチームワークで成り立つ
十一月十五日から二月十五日までの猟期中に、その約七割以上の日数を充てることのできる
職種は、農業と林業の複合形態か自営業者に限られます。
現在、イノシシの駆除に当たっておられるみなさんは、大半が農林業者で農閑期の山の手入れ時期の一部をさいてこの猟に充てています。
今年の場合、一日に二頭撃つた日が三回

あることから、約七十日余りをイノシシ猟に充てていることになりません。
捕えたイノシシの肉は、昔から「山くじら」と呼んで珍重したほど、美味で高価なものです。
捕獲した一頭を丸ごと売ったとすれば、その日の日当が取れるほど高く売れるのですが、グループの均衡を保つために売ることは一切せず、猟師の間で肉を分ける方法を取っています。
つまり、猟に出た日は収入がないので無報酬で七十日間猟に出ていることになりました。
「趣味だから出来ることで、採算を考えたらいノシシ猟は出

来ない。それも肉で精算しているおかげでグループが成り立っている。みんな奉仕の気持でやってるよ」
供養と反省の意味を持つ慰労会の席で明るく答えてくれた猟師のみなさん。
今年の捕獲成果と、みなさんの苦労がきくとこの秋の水稲被害の減少につながるものと期待されます。



仕留めた喜び全員で分かち合う慰労会

- 戸籍の窓 十二月十六日～一月十五日
誕生おめでとうございます
- (平) 田口 義孝 菜由
鈴子 (長女)
- (柏本) 古田 辰夫 侑矢
美香 (長男)
- (上親田) 早瀬 政広 弘一
ひろみ (長男)
- いつまでもおしあわせに
柴田 幸司 (愛知県瀬戸市)
安江 弘巳 (陰地)
- おくやみ申し上げます
熊澤 彦一 89歳 (大明神)
村雲 エキ子 58歳 (平)
今井いそゑ 66歳 (大沢)
古田 虎雄 81歳 (上親田)
今井はふ江 70歳 (平)
田口 良三 88歳 (中谷)

キラッと輝いています 私たち20歳!

東白川村成人式

「成人の日」の一月十五日、新成人の門出を祝う成人式が、東白川青年団と東白川村婦人会の協力によって村民センター大集会室で開かれました。

対象となった新成人は、昭和四十四年四月二日から四十五年四月一日の間に生れた男女

六十人。この日、八五割に当たる五十一人が出席しました。

記念式典では、村から成年証書と記念品が贈られ、桂川村長から「大いに青春を語り、仕事に勉強にと情熱を失うことなく前進されることを心から期待します」とあいさつ。次いで新成人を代表した陰地の今井明義さんが、力強く誓いのことを述べました。

午後からの記念講演では、新成人の中学時代にふれた田口博前教育長の話に懐しく耳を傾け、成人としての自覚を新たに新世紀への限らない夢とロマンに目を輝かせていました。

めでたく大人の仲間入りをした新成人は、次のみなさんです。
(一)内は世帯主氏名敬称略

- は村内在住者十一名
- 【大口】今井正浩(正道)
- 【平】大坪靖(鉦明)▽桂川伸(真弘)▽中丸栄作(清彦)
- ▽中村欣央(十美)▽古田俊哉(政春)▽今井千恵(和美)
- ▽田口幸子(暁)▽安江美賀(秀太郎)
- 【下親田】村雲幸世(次郎)▽安江保奈美(保表)▽安江里佳(里巳)



成人の誓いを述べる今井明義さん

- 【上親田】安江一隆(登貴子)
- 安江功樹(泉治)▽安江大輔(将一)▽村雲佳の実(規造)
- ▽安江美和子(一美)
- 【中通】安江泰正(隆司)▽村雲しほ(巖美)▽安江しのぶ(俊郎)
- 【神付】今井誠(直道)▽村雲治幸(義巳)▽村雲昌久(勝也)
- 【中谷】●田口二良(琢也)
- 【加舎尾】●藤井一矢(茂樹)
- 【西洞】田口亘(政春)▽安倍由香里(徹)▽今井千春(信行)▽小池はるみ(勇)▽村雲百合子(みい)
- 【日向】今井敦弥(和博)▽安江淳(信一)▽瀬戸垣桂(明)
- 【陰地】●今井明義(兼義)▽小林将矢(博)▽曾我道弘(修)▽安江大樹(春兼)▽安江亮(造)▽糸魚川純(隆男)▽大坪穂奈美(晴生)



話か弾み笑顔ほころぶ会食会

- ▽桂川かおり(敬言)▽鈴木理恵子(英二)▽安江貴美子(明夫)
- 【橋山】●安江八城(政義)
- 【黒淵】熊沢伸幸(寛)▽高木誠(孜)▽安江伸浩(正衛)
- ▽安江満(房好)▽山田功(司郎)▽坂垣恵美(和也)▽高井由里子(鋭三)▽高木しのぶ(英彰)▽田中身和子(旧性)▽安江(昭子)
- 【大明神】安江里佳(春子)
- 【柏本】栗本江里子(香)
- 【宮代】打田文子(旧性)▽安江(初夫)▽山口あゆみ(直視)
- 【大沢】藤井智晴(勝美)
- 【下野】今井恵美子(八十巳)
- 【美濃加茂市】田口奈三子(忠一)

■善意の寄付 敬称略

【社会福祉指定寄付】

- 現金二万円—松岡弘(陰地)
- 現金五千円—日向平婦人部
- 現金五万円—今井利夫(大沢)
- 現金三万円—熊沢信彦(大明神)
- 現金三万円—今井悦次(平)
- 現金六千円—田口きのく(陰地)
- 匿名—一万円
- 【庁内備品購入指定】現金十万円—古田和成(上親田)

- 【東白川中学校へ】工業用ミシン一台—安江司(西洞)
- 【五加保育園へ】遊戯室カーテン—古田きよ子(久須見)
- 交通安全紙芝居セット全十二巻—古田正子(久須見)
- 紙芝居二巻—今井実郎(下野)

【越原地域集会场へ】ガス湯沸し器一台—日向農協婦人部

■訂正とおわび 敬称略

一月号掲載の越原地域集会场寄付の欄で、コタツ一式はコタツ掛けふとんと敷ふとん寄付者桂川敬言は日向組の誤りでしたので訂正おわびします。

十二月号九ページ掲載の産業振興功労者に、樋の子探そう会が記載漏れとなっていましたのでおわびします。

平成二年四月「土曜閉庁」実施

第二・第四土曜日の業務を休みとする「土曜閉庁」を、平成二年四月から本村を含め管内市町村いっせいに実施することになりました。

この土曜閉庁は、とかく働き過ぎと批判される日本人の労働条件を改善し、ゆとりのある生活をつくるために、労働基準法が改正（週四十時間労働）されたことに伴い、国・県などにならって、全国の市町村で実施されつつあるものです。

これを受けて、全国の事業所の六十五割（昭和六十三年四月現在）が週休二日制を実施。金融機関は、平成元年五月から全国一斉に全土曜日を閉店としています。

すでに、国が平成元年一月から、岐阜県が平成元年五月から土曜閉庁を導入。また、県下の市町村では、恵那郡十一町村と板取村が平成元年十月から実施しています。

本村も国や県に準じ、病院

第2・第4土曜日は役場の業務を休ませていただきます

や保育園を除いて、四月から第二・第四土曜日の業務を休ませていただくことになりましたので、ご理解とご協力をお願いします。

●閉庁日でも行う業務
日曜日や祝祭日と同じように、出生届、婚姻届、死亡届の受理、埋火葬許可書の発行は、これまでどおり行います。

これらの用事のある方は、今までどおり役場の当直者が事務を行いますから役場へお越し下さい。

●閉庁せず今までどうり業務を行う機関
・東白川病院・母子センター・保育園

●平日の窓口業務では：昼休み時間でも、諸証明等の受け付けを行います。

また、電話で受け付け可能なものについては、前もって予約受け付けを行います。
※土曜閉庁実施についてのご案内
明な点は、役場総務課（有線二一三二）までお問い合わせください。

東白川村消防団

●● 出初式 ●●

新体制に向け防災の誓い新たに



堂々と分列行進を披露する団員

新春恒例の消防団出初式が一月五日、東白川小学校校庭で午前十時から行われ、可茂県事務所長をはじめ多数の来賓を迎えて、この一年の防災の誓いを新にしました。

この日、中島潮巴団長の式辞の中に今年四月から実施される「二分団制」など、編成替えについての話がありました。その内容は、現在の第一分団（神土）と第二分団（五加）を統合して、東白川

新体制に向け防災の誓い新たに
が低く消防施設が十分に活用出来ないといったことから村の実情に即した編成替えに踏み切ったものです。
当日、表彰を受けられたのは次のみなさんです。（敬称略）
●岐阜県知事表彰
【特別功労章】団長―中島潮巴
【功労章】副団長―今井武司
●可茂県事務所長表彰
【功労章】副団長―土井信行・熊澤政尚
●岐阜県消防協会会長表彰
【功績章】分団長―安江正徳・野村孝・安江政春
●加茂郡消防協会会長表彰
【功績章】副分団長―河田正博・安江正孝・安江正隆▼部

村消防団を一
分団と三分団
にすること。
また、現在の
定員百九十人
を平成六年を
目標に百五十
人に減らし、
可搬ポンプ三
台を削減する
などが主なも
のでした。
その背景は、
人員確保が困
難になった。

長―今井信好・古田茂樹
【勤労章十年】副分団長―熊澤政尚・安江正隆▼部長―安江一成・安江正大・安江祐策・安江裕尚▼班長―今井大作・古田義英・今井日出明・松岡良典・安江雅信・安江庄三・今井忠春▼団員―松岡安幸
●賞賛（第三十八回岐阜県消防操法大会加茂郡代表出場）
団員―田口喜一・桂川一喜・松岡昭信・安江千章・牧野友紀央・松岡安幸
●東白川村長表彰
【功労章】部長―安江政辰・安江雅人・新田兼博・安江満久・古田義隆・安江一成・安江恒夫
【功績章】班長―安江一英・安江一郎・安江敏▼団員―村雲成治・田口正昭・安江一真・村雲史郎・樋口成邪・村雲章・安江繁人・安江孝洋・安江正明・田口義孝・安江道和・今井英樹・安江一夫・稲垣隆・田口正幸・安江久光・村雲孝祐・安江健
【勤労章】部長―笹俣良昭▼班長―安江芳晴・村雲健次・有田周夫・桂川和巳▼団員―古田雅彦・早瀬政広・今井義尚・田口幸生・今井悦郎・樋口章久・安江守人・安江道彦・村雲陽司・栗本丈見・安江健郎・安江忠・桂川明義・桂川憲生

ひのきどんどのひのき舞台で

檜茶太鼓の撥が響いた!

東白川青年団体連絡協議会(村雲直樹会長)主催の「東白川ひのきどんど」が一月二十一日、東白川村総合運動場を会場に開かれ、村内外から集まった約三百人の観衆でにぎわいました。

「冬期観光イベントを全国にない企画で」と、左義長にヒノキの間伐供養祭をドッキングさせ、開催して今年で二回目。その名のユニークさと、神道の村ならではの演出に心ひかれた常連客など、村外から約六十人が詰めかけていました。



▲見せ場を盛り上げた檜茶太鼓



▲赤々と燃え盛るとんど

やぐらの前で、三人のスタッフが白装束を身にまとい、参員(神職のお手伝いをする者)となり、今井好美神職によって厳やかに神事が取り行われ、祝詞奏上、玉串奉典と続いていよいよ着火。

祭壇の灯明の火を、三本の松明に分火し、三人の参員がこれを手に左義長の四方に点火すると、ヒノキの葉がパチパチと音をたてて一気に燃え上り、「オウー」という歓声が湧きました。燃え盛る炎を舞台に、中学生による檜茶太鼓を披露。勇壮な太鼓にのって「ドッココン」と

破裂する竹の快音が出間に弾け、音と炎の演出効果がひととき引き立っていました。

おおきを一斗カンに集め、バザーコーナーで買求めた餅をどんどの火で焼いて食べ、一年の健康を祈りました。

会場に設置された特産品コーナーとバザーコーナーは、終始にぎわいを見せ、野菜や豚肉を入れた田舎の味、「五介なべ」の無料サービスに舌つづみ。豪華商品が当たるくじ餅ち投げでイベントの最後を飾りました。

今回、やぐらに使ったヒノキの間伐材は、2メートルラック一杯分。やぐらのしん棒には、高さ約十五メートル、二十五年生のヒノキの間伐材が利用されました。この日、仕事と余暇の時間を割いて協力したスタッフは、前日の準備を含めて延べ六十人。資材から、その運搬のための機材すべてをスタッフが調達。若者の手で、村に新風を吹かせようという青年団体連絡協議会の活動は、ふるさとづくりのみなぎる活力となることでしょう。

安江正文さん晴れて 勲五等瑞宝章を受章



章を手にした安江さん

上げる気持を押え切れず受章の喜びを涙で語る安江さん。

この章は、四十年有余にわたる地方自治振興に尽された多大な功績が認められ、晴れて受章となったものです。

神付の安江正文さん(満八十九歳)が、このたび勲五等瑞宝章を受章され一月二十四日、桂川村長が自宅に向いて伝達を行いました。

「身に余る章をいただき感謝の極みでございます。十二月十二日、突然受章の知らせを聞いたときは、まるで夢に見た驚きがありました。なぜ私が章をと、あれを思いこれを思い振り返ってみると、これひとえに村民の皆様が今日まで私を育ててくださった賜ものと心から感謝しております。この喜びをうまく表現できませんが、あふれる涙は嬉しさのあまり出る涙です……」

このお礼を何かの形でお返ししたい気持ちでいまは一杯です」と、込み



安江さんは、大正十三年三月、書記として役場に奉職して以来、三十九歳にして収入役に選任され、十三年八か月の間収入役を勤められました。その後、助役に選任され八年間村長の右腕として、村の育成発展に貢献。退任後も、選挙管理委員会委員長を勤めるなど、永年公務員一筋に専念され住民の良き相談者として努力してこられました。収入役在任中は、戦中戦後の激動の時代にあり、苦しい生活の中でも、村の財政を守るためにひたすら努力され、満州開拓団編成そして引き揚げ団員の受け入れ、新制中学校の建設、と寝食を忘れて職務を遂行。助役就任後も先見の明をもって精力的に事業を推進してこられました。



エサをねらってやって来た主役のタヌキ(裏庭)

タヌキとネコのめし取り合戦! 下親田安江麻一さん宅...

そもその事の発端は、我が輩がエサを残したことに始まった。まあ一はじめは、残り物だからくれてやろうと寛大な気持ちで与えていたが、いつのまにか友を引きつれノコノコと我が輩の夕食に現れたしたのである。そうなったら、こつちも意地である。三匹のタヌキを相手取り追い散らそうとしたが、さすがに手ごわい。加勢に野らネコが現われたが、結局五匹で熾烈なめし取り合戦が始まった。いやはや世知辛い世の中である...

柏本の纏綿泰郎さん宅で、春に咲くスイセンと夏に咲くカニサボテンが、時期はずれの白とピンクの花をつけました。「こんなことは初めて。昨年暮れあたりの暖冬で刺激されたのか、土間に置いて冬越しをさせていたカニサボテンが、いつの間にかつぼみをつけ、約一か月たった一月十一日に花をつけました。普通じゃないですね



カニサボテン

予報が狂ってくるい咲き! 半年早く花をつけたカニサボテン

「...」と、不思議そうに語られる奥さんの章江さん。さて、今年はどうな年になるのやら?

上・下親田三年連続総合優勝

第三回村民ふれあい綱引き大会

村民のふれあいの場と冬季の体力づくりの機会として取り入れられた、「村民ふれあい綱引き大会」が一月二十八日、東白川小学校体育館で開かれ、会場は集った選手ら約八百人の熱気で包まれました。

この大会も今年で三回目とあって、出場チームも前年を十一チーム上回る六十三チーム六百三十人が参加。



満身の気合いに応援にも力が... (上・下親田49歳以下女子)

各チームとも熱のこもった三回の練習と体育指導員の技術指導を受けて大会にのぞんでおり、地区対抗総合優勝と種目別優勝をかけて、一歩もひかない激戦が繰り広げられました。

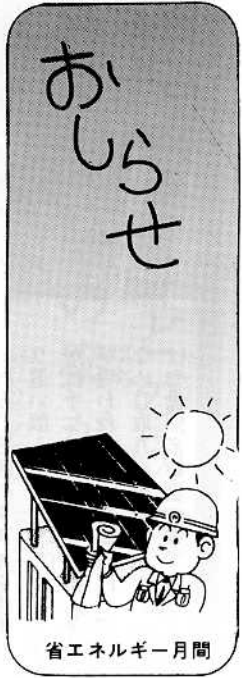
試合は、前評判の高かった上親田が予想どおりの強さを見せ、全種目入賞、うち四種優勝という快挙を成し遂げ、三年連続総合優勝に輝きました。

「理論的には、どう引けば良いかわかっていても、いざ引き始めると体が立ってしまい、チーム全体の力が一つにならない...」初戦で破れたチームから、そんな反省の声が聞かれました。しかし、決勝へコマを進めるチームは、さすがに意気が合っており、体格差を感じさせない力を発揮。

中でも、上・下親田の「三十五歳以下男子」と「四十九歳以下女子」は、八種目制になって二年連続優勝を果すなど練習の成果がうかがわれました。

◆種目別成績 ◆総合成績 優勝—上・下親田(3年連続) 準優勝—曲坂・日向(初)

区分	無差別級男子	無差別級女子	35歳以下男子	35歳以下女子	40歳以下男子	40歳以下女子	50歳以上男子	50歳以上女子
優勝	大明神	中通・神付	上・下親田	上・下親田	中谷・加舎尾・西洞	上・下親田	陰地	上・下親田
準優勝	上・下親田	大沢・下野・久須見	陰地	大沢・下野・久須見	柏本・宮代	中谷・加舎尾・西洞	平上	曲坂・日向
3位	中通・神付	上・下親田	曲坂・日向	栃山・黒淵	上・下親田	曲坂・日向	曲坂・日向	大沢・下野・久須見
	—	—	平上	中谷・加舎尾・西洞	陰地	—	大口・平上	—



有線電柱の古材

お分けします

村では、有線電柱の古材約五十本を処分します。

お分けする本数は、一人当たり五本以下とし、申し込み順に受け付けます。

古材の価格は、一本五百円。申し込み取りまとめ後、立ち合いのうえ引き取っていただきます。

ご希望の方は、役場企画課（有線二二五五）へ申し込んでください。

農地の売買は 農業公社へ

岐阜県農業公社では、止むを得ない事情で農地を手放したい方から、農地を買い受け、規模を拡大したい農家に売り渡す業務を中心に活動しています。

- ◆ 農業公社の利点
- ◆ 農地を売ったとき

譲渡所得税の特別控除額が、八百万円まで認められます。

◆ 農地を買ったとき

● 不動産取得税の課税標準額が、三分の二になります。

● 農地等取得資金が、千二百万円まで借りられます。

◆ ご相談は、役場農務課（有線二二六一）または、農業公社（電話〇五八二一七三一一）までお問い合わせください。

「国の進学ローン」 申し込み受付

国民金融公庫では、ただいま「国の進学ローン」を取り扱っています。ご希望の方は、お早めにご利用ください。

- ◆ 利用できる方
- ◆ 今春「高等学校」「短期大学」「大学」および「専門学校」等へ進学する子供の父母等
- ◆ 融資額

進めています=ふるさとづくり

◆ 工事入札結果（工事名・工事箇所・事業量・事業費・施工業者・完成日・事業主体の順になっています）

【大明神】大明神農村公園整備工事
・旧分校跡地・面積1150㎡（ゲートホールコート2面、テニスコート1面）
・4,550千円・新田建設・3/20・村

◆ 進学者一人当たり百万円以内

◆ 利率 年 六・二割

◆ 保証（財）進学資金融資保証基金の保証または保証人（一名以上）

◆ 返済期間 五年以内

◆ 申し込み取り扱い期間 平成二年四月三十日まで

◆ お問い合わせ先 国民金融公庫多治見支店「進学ローン係」（電話〇五七二二二一六三四一）まで

中部アマゴ釣り大会

今年は越原で……

東白川村観光協会と飛驒川漁業協同組合の共催による「第五回東白川中部アマゴ釣り大会」が、三月十八日、越原センターを本部に越原温泉から上流約五百メートルの区間で開かれます。大会の詳細については、商工会事務局へお問い合わせください。

公職選挙法が改正 政治家の祝儀などが禁止されます

お金のかからない政治や、正しい選挙を推し進めるために公職選挙法の一部が改正され、平成二年二月一日から適用されることになりました。

◆ 改正の主な内容

◆ 政治家（現職議員、町村長等首長、今後これらの候補者になろうとする者）は、選挙区内の者に寄付（祝儀、玉串料・奉納金・花輪などを含む）をすることは禁止されます。（罰則あり）

◆ 改正の主な内容

認められます。
● 政治家本人が自ら出席する結婚披露宴の祝儀と葬儀の玉串料
● 親族に対する寄付（祝儀など）
◆ 有権者が政治家に対して寄付を求めることは禁止されます。（罰則あり）

◆ あいさつ状等の禁止
政治家は、選挙区内にある者に対して、年賀状、暑中見舞などは禁止されます。ただし、あいさつ状全体が自筆のものは除かれます。

◆ 政治家や後援会が、有料のあいさつ広告をすることや、後援会が花輪、祝儀、玉串料などを出ることのいずれも禁止されます。（罰則あり）

シリーズ 思いやりと暮らし 身体で覚える

幼い子が刃物や針などを持つと「アブナイ！」と言いがちです。ケガをする、血を見る、という危険を感じての言葉かと思えます。……でも、ストップさせるのは良いことでしょうか？ ケガの痛みを体験しないまま

で大人になった人のキズは意外と大きい場合があります。ですから、なるべく幼いうちにケガの体験・血の出る痛みを体験しておきたいものです。ただし、大人の人が立ち会い、言葉を添えながらの体験として下さい。

今月の図書



山賊の墓

木崎さと子著

幼い日を共有した三人の男女。夢と現実の果てに見た炎の記憶が、時を超え、揺らめく光の中で鮮やかに蘇る。日本と満州を舞台に、恋、憎しみ、そして殺人と……著者こん身の長編小説は読者の皆様にきっと満足いただけることでしょう。

春の砂漠(上・下)

平岩 弓枝著

北アフリカの砂漠に、つかの間の春を迎えて咲く花のような三姉妹——この三人の間に一人の青年医師が登場し、愛の葛藤を通して人間の原点を追求する華麗なるミステリー・ロマン。平岩文学の魅力力を十分に楽しめる本として紹介します。

ふるさとのことば ⑫

「だちかん、だちかん、今日はおちよつとも釣れん」とAさんが川から上がつてきました。たまの日曜日、釣りにきたのですが、風もあるし、寒いので、さっぱり釣れません。さて、この「だちかん」は「だめだ」「いけない」という意ですが、そもそもどういうところから出た言葉でしょうか。「らちやかん」「らちかん」などともいいます。どうやら「埒」という語がもとになっているようです。埒は馬場や物の周囲に設けた柵のことです。これから転じて物事の区

☆だちかん

切りのことをいいます。謡曲「道成寺」に「埒より内に候ふぞ」と用例があります。その埒が明かないという意から「らちやかん」「らちかん」↓「だちかん」と変化したものではない



「だちかん」という言葉も辞書に載っています。島崎藤村の「家」に「彼様な者はダチカン」とあり、滝井孝作の「慾呆け」には「ぼくの収入のないことは『それではダチカン』と

でしようか。

「だちかん」という言葉もある。最近「だちかん」の用法も「らしかん」、「らしやかん」、「らちあかん」、「だちやかん」などといったり、「だちくもんか……埒が明くものか。だめだよ」「だちかまい……埒が明くまい。だめだろう」「だちかなんだ……埒が明かなかった。だめだった」「だちきやへん……だめだ」とさまざまに広がっています。

云つたり」などと用例があるからです。この「だちかん」、自分のことにはともかく、ひとのことは用いたくないものです。「おまえ、だちかんやないかよ」なんて言われて、いい気持ちはいません。「だちかん」をだちかん言葉にしないで……



ひと抱えもある大火鉢



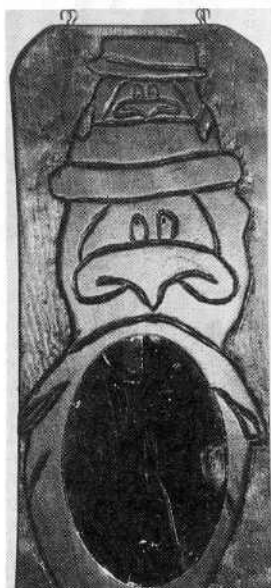
5 円の大火鉢

日当・一円、米一升・八十銭という時代の五円の大火鉢。この火鉢は、七十七歳を迎えた宮代の安江空一さんの一品です。五十年前、名古屋で挙げた安江さんの結婚祝いに、お母さんが大金をはたいて買ってくれたものでした。「火鉢そのものは冷たいが、火を入れると暖かくなって人を温めてくれる。今日から所帯を持つお前も、この火鉢のように人に対して温かく接し社会のためになることをしていけば、きっと良い暮らしができるでしょう、心の持ちようだけです。」食べるのが精一杯の時代に、

お母さんはこの言葉を添えて五円の火鉢を贈ったのです。挙式後まもなく太平洋戦争へ突入。名古屋は、まさに地獄絵と化したのです。五十数回にわたる空襲のあげく、家を焼失。やっとの思いで持ち出したものは、この火鉢と数点の家具のみでした。「……夜は名古屋方面の空襲で赤く染った夜空を眺め」と村誌につづられた火の海の中に、安江さんはいたのです。戦争後、妻と子供をふるさとへ疎開させ、自分は軍需工場で働くことになりました。七月の暑い盛りのこと荷物は五コまでという鉄道規定で、送ることのできなかつた大切な「火鉢」を、自転車の荷台に積んでふるさとへ運ぶことにしたのです。午前五時、現在の港区あたりから約百十先の村をめざして出発し、七宗の発電所に着いたのが正後のこと。それからは、乗ることも出来ないガタガタ道で十八時間をかけて家へ着きました。五十年間、安江さんの心の支えとなってきた火鉢は、毎年十一月七日の結婚記念日に火を入れて奥さんと身を温めては、母の言葉を思い出し、奥さんの内助の功に感謝されているそうです。

私の作品

▶木彫鏡(ペンギン)
東白川中学校一年 小池直之さん(平)



すくすく育て

仲間 風太くん||長男右
文太くん||次男左 (一歳)
治也さん・るみさん(平)

短歌



田口良三翁追悼欄

昭和50年から15年にわたって、この欄の親した歌として多くを育てて良田口氏が、1月の8日、8歳で亡くなりました。作玉載追悼します。

田口良三さんは今年の正月、親しい人々に自作の短歌をしるした年賀状を贈られました。

三万三千日 この世の恩頼もろに受け なほ永らへて勿体なきかな

今は遺詠となったこの歌は、もはや神か仏の境地のようですが、短歌への情熱はだれよりも熱くたぎっていたことが、次の二首に偲ばれます。

荒き世に せめて優しきやまに歌 まもりてゆかむ残りの生を

足萎えの 老も翔ぶべし春なれば 歌のロマンの翼を張りて

田口さんは、まさに「歌のロマン」の翼を張って、やまと歌を守り、育て、その一首一節は私たちの心に、あるときは人の心の温もりを教え、あるときは土の香を伝え、自然の恵みを運んでくれました。

岐阜県歌壇の星がひとつ消えました。しかし残されたその歌は、東白川村の誇る芸術としていつまでも光り輝くことでしょう。

安らかに眠って下さい。

月蝕に刻を忘れて竹つ吾に妻が胴着を被せてゆきけり (43年)

年輪はこまやかにして木曾檜紅差すを吾は彫りゆく (43年)

節くれの松の赤根のごとき手を掘りし牛蒡と共に洗へり (44年)

畑ひらく朝の焚火に並べ乾す凍てし軍手が息を上げ始む (46年)

明け昏れの桑の瑞葉に昏ふれて霜を確かむ哀し剛霜 (47年)

照り込みて立ち降りたる稲の葉に手触れてみれば夕露散らす (48年)

柿の木の下に柿食ふ老婆は一生の伴れの。樹下美人。なり (50年)

佗しさに天ゆく冬日仰ぎるて一つ賜はる大きくしやみを (51年)

手に滲みし堆肥の臭ひを消さむと夕べの池に樾の葉を揉む (51年)

足弱の吾の植樹はひざまづき齋くがごとく畏みてする (51年)

陽の道を頭に置き苗の裏表しかと見さだめ植えてゆくなり (51年)

拙なかりし一生も末の償ひと樹をば植ゑ居り山を這ひつつ (51年)

水鶏鳴く夕べ静けし手の平をあてて植田の水温をはかる (52年)

朝光のさばしる梅花一輪をちぎり噛みついのちありがたし (53年)

老の身の一日を瑤と惜めども繁る夏草すてては置けず (53年)

脱皮して未だ柔かきお蚕の貌は哀しきキリストに似る (54年)

十六首 昭和五十五年九月上梓歌集「冬虹集」より

老化せし頭蓋の孔の耳冴えて夜半のかそけき時雨をぞ聴く (元年)

百姓の硯に措しき明墨を磨れば香に立つ珍の青墨 (元年)

方庵も文人ゆえに子等にさへ疎まれしとぞ聴きて寂しむ (元年)

立ちよろけ転ぶは危なし四つ這がよしと気楽に医者までが言ふ (元年)